



「交通安全を守りましょう」と呼び掛けながら防犯用ライトを手渡す村上璃皇くん

交通安全を守りましょう 葛保園児が一日警察署長

一日警察署長の委嘱状交付式は9月30日、役場前の駐車場で行われ葛巻保育園(茅森幸子園長、園児66人)の太田桜愛ちゃん、下天広蒼ちゃん、村上璃皇くんの3人に足利岩手警察署長から委嘱状が手渡されました。

同園の年長児18人は、警察署員や町交通安全母の会のメンバーらと事業所や地域を回り交通安全レターを渡して交通安全を呼び掛けました。

近藤精助さん、和子さん夫妻は「絶対に守ろうと決めました」と子どもたちの訪問を歓迎し、交通安全を堅く心に誓っていました。



蔵の壁面に映された映像を鑑賞しながら食事を楽しむ参加者

にぎわい創出の実証実験 町有地の新たな活用探る

9月28日、くずまき型DMOのメンバーがまちなかエリアビジョンの中にある町有地の活用を検討するため、野外イベントの実証実験を行い地域住民ら約40人が参加しました。

下町地区にある「蔵」をスクリーンに見立てて映像や音楽を流し、集まった人たちはバーベキューやかっけなどの食材を持ち寄り、食事を楽しみながら交流を深めました。にぎやかな雰囲気誘われて参加した地域の人たちは「コンサートや自治会の夏まつりなどにも利用できるのでは」と新たな活用に思いを巡らせていました。

くずまきクラフト市 まちなかにぎやかに

くずまきクラフト市2019かなづき(同実行委員会主催、南館則江代表)は10月5日と6日の2日間行われ、県内外から38店舗が出店し、手づくりならではの温かみのある作品が数多く並びました。

今回は「旧つるや」の空き店舗を新たに活用し、計4カ所での開催。子ども商店を出店した鈴木琴葉さん(葛巻小6年)は「自分で手づくりした作品をお客さんに買ってもらえるのが嬉しかった。また参加したいです」と満足げに話していました。



作品を手に出店者からの説明に耳を傾ける来場者たち

くずまき秋の星空観察会 満天の星空はすぐそばに

町観光協会(遠藤裕樹会長)主催の「くずまき秋の星空観察会」は9月28日、グリーンテージで開催され、町内外から親子連れら43人が参加しました。

講師は、元理科教諭の齊藤政宏さん(滝沢市)。曇り空のため、実際の星を観察できませんでしたが、芝生に寝転んだり、齊藤さんが作成した望遠鏡をのぞきながら星座の位置を確認しました。上野紗璃さん(葛巻小2年)は「星の種類がたくさんあることが分かりました」と身近に広がる星空の魅力に関心を寄せていました。



自作の天体望遠鏡で観察の仕方を教える齊藤政宏さん(中央)

エコハウスに学ぶ 健康快適な家造り

くずまき型DMO「まちなか検討部会」主催のエコハウス勉強会は10月15日、総合センターで行われ町内外から30人が出席し、エコハウスについて学びを深めました。

講師は一級建築士で東北芸術工科大学教授の竹内昌義氏。地域の森林資源を活用した高気密高断熱のエコハウスの建設の役割や健康で快適な生活との関係などについて説明しました。

同部会では、11月に参加者が実際に断熱材の設置作業を行い、環境の違いを体験する「断熱ワークショップ」の開催を予定しています。



エコハウスの特徴について説明する竹内昌義さん(円内)



消火器を使って初期消火訓練をする遠藤礼二郎さん

総合防災訓練実施 防災意識を高める

総合防災訓練は9月29日、江刈小グラウンドなどで行われ町消防団や地域住民ら約350人が参加し、防災意識を高めました。

この日は、避難住民の移送訓練や自主防災隊などによる初期消火訓練、煙体験訓練、炊出し訓練などを実施。同校児童を代表して消火器での初期消火訓練を体験した遠藤礼二郎さん(江刈小6年)は「消火器は粉が出るので、水より燃え広がるイメージがあったけれど、実際に消火してみると簡単にすぐ消えました」と違いを肌で感じたようでした。